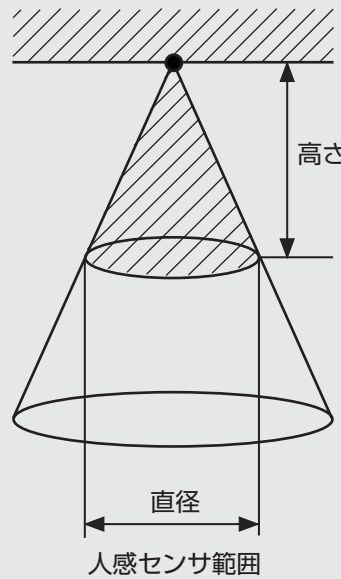


人感センサ器具に関する注意事項

1. 検知範囲(周囲温度25℃の場合)

- ・人感センサは円錐形の内部の範囲を検知します。



2. 取付上および取扱上の注意事項

- ①人感センサのレンズ部分は乾いた布でこまめに清掃し、清潔にしてください。
- ②人感センサは赤外線(熱)を検知します。風が当たると誤動作の原因になる場合があるため、センサ周辺には空調の吹き出し、解放窓などが来ないように位置に施工してください。
- ③人感センサのレンズは器具表面から突出していますので、段積みなどしないでください。レンズが変形した場合、人感センサが正常に動作しない場合があります。
- ④人感センサは赤外線の変化を検知するものであるため、人体以外の熱源が検知エリアを横切ると同様に検知します。人体と同じ程度の物が移動する環境下での使用は避けてください。
- ⑤夏場など周辺温度が体温に近い場合は、感度が鈍くなる場合があります。この場合はエアコンなどによって周囲温度を調整してください。
- ⑥人感センサは赤外線の動きを検知するため、検知エリア内においても長時間動作がない場合、動作が微小な場合は検知しないことがあります。
- ⑦白熱灯照明器具から40cm以内の場所に取り付けしないでください。
- ⑧人感センサは電源を投入してから安定して動作するまで30秒かかります。調光器の電源投入直後は動作しませんご注意ください。
- ⑨赤外線は透明なガラスであっても大半が遮断されます。従ってガラス製のパーテーション等の障害物がある場合は検知できません。
- ⑩検知範囲以遠でも検知能力が備わっていますので、気温と人との温度差が大きい冬季などは、計画上の検知範囲以外でも検知する場合があります。
- ⑪器具取付けが斜めに傾くと検知範囲に影響しますのでご注意ください。
- ⑫施工、及び清掃の際は、接続調光器の電源を切ってください。

型名	検知範囲		検出条件		
	高さ	直径	背景との温度差	移動スピード	検出対象(人体)
DL-YS005 (標準検出タイプ)	3m	約φ6.7m	4℃以上	1.0m/s	想定サイズ 700×250mm
DL-YS006 (微動検出タイプ)	2.8m	約φ5m	8℃以上	0.5m/s	想定サイズ 200×200mm
	2m		4℃以上		

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

出張修理

お買いあげ販売店(工事店)に次のことをお知らせください。

- ・品名：人感センサ
- ・形名
- ・ご住所(近所の目印も合わせてお知らせください)
- ・設置完了日(下記年月日)
- ・故障の状況(具体的に)
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証について

- ・保証書が必要な場合は販売店(工事店)までお申し出ください。
- ・保証期間…設置完了日から1年間です。

保証の免責事項

- ・保証の免責事項につきましては、保証書、またはカタログをご参照ください。

形名	
設置完了日	年 月 日
販売店(工事店)名	

お問い合わせ先



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<https://jp.sharp/support/>



使用方法のご相談など
【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル 0120-508-562
携帯電話からは、ナビダイヤル 0570-550-189

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用できない場合は 050-3852-5405 FAXの場合 06-6792-5993
■ご相談受付時間(年末年始を除く) 月曜日～土曜日/午前9時～午後6時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時

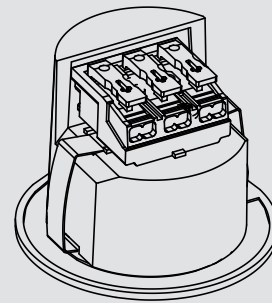
シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
SAS事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

SHARP®

天井埋込センサ器具(人感センサ)

工事説明書および取扱説明書



形名

ディー エル ワイ エス

DL-YS005

標準検出タイプ

ディー エル ワイ エス

DL-YS006

微動検出タイプ

適合調光器

ディー エル ワイ エス

DL-Y010R

アール

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

工事店様へ 施工上のご注意

お願い ●工事が終了しましたら、形名、設置完了日、販売店(工事店)名を4ページに記入して、この説明書を必ずお客様にお渡しください。

警告

- 器具を改造したり、部品を変更して使うことは絶対にしない。(器具落下、感電、火災の原因)
- 器具に他の荷重をかけない。燃えやすい物で覆わない。(落下、感電、焼損、火災の原因)
- 器具の取り付けは、本説明書の「器具の取付方法」にしたがっておこなう。(接続が不完全な場合、発熱、火災の原因)
- 表示されたDC12V±6%内で使用する。(短寿命、火災の原因)
- AC接続しないでください。

注意

- この器具は一般屋内専用器具です。傾斜天井、壁面には取り付けられない。重量に耐える場所に設置する。(指定以外の取り付けをおこなうと器具落下の原因)
- この器具は防湿形ではありません。湯気、湿気の多い場所や結露する場所では使わない。(絶縁不良、感電の原因)
- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所、雨の吹き込みを受ける場所では使わない。(感電、落下、サビの原因)
- 周囲温度は5～35℃の範囲で使用する。(発熱、短寿命の原因)
- 設置の際は必ず調光器の電源を切り、手袋などの保護具を使用する。濡れた手で器具を取り扱わない。(感電、ケガの原因)
- 設置の際は適切な作業設備により安定した姿勢で取り付けをおこなう。(転落の原因)
- 雑音機器(ラジオ・ワイヤレス方式機器)からはなるべく離して使用してください。

お客様へ 使用上のご注意

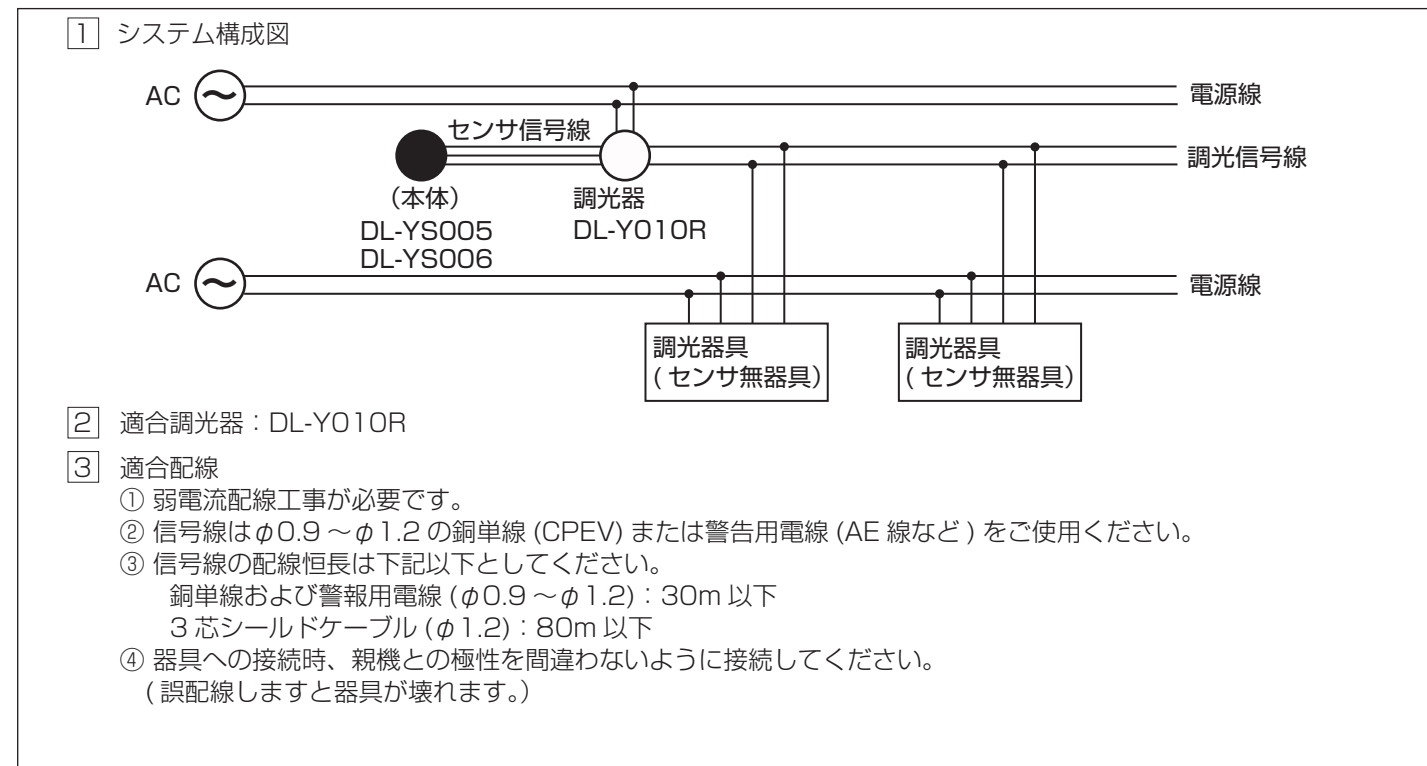
警告

- 器具を改造したり、部品を変更して使うことは絶対にしない。(器具落下、感電、火災の原因)
- 器具を可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけない。(発熱、火災の原因)
- 煙、臭いなど異常を感じたら、すぐに調光器の電源を切る。(感電、火災の原因)

注意

- 器具をアルカリ洗剤や薬品などで拭いたり殺虫剤をかけたりしない。(故障、落下、感電の原因)
- 周囲温度は5～35℃の範囲で使用する。(発熱、短寿命の原因)
- 3～5年に1回は、工事店の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。

システムの構成図



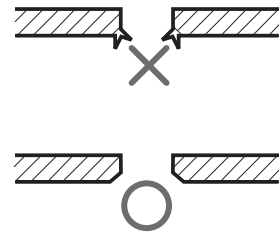
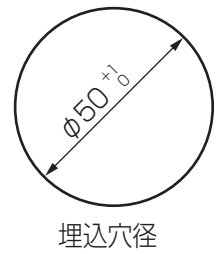
器具の取付方法

器具の取り付けは確実にしてください。器具落下の原因となります。
●安全のため、取り付け高さに応じた適切な作業台や脚立を用いておこなう。

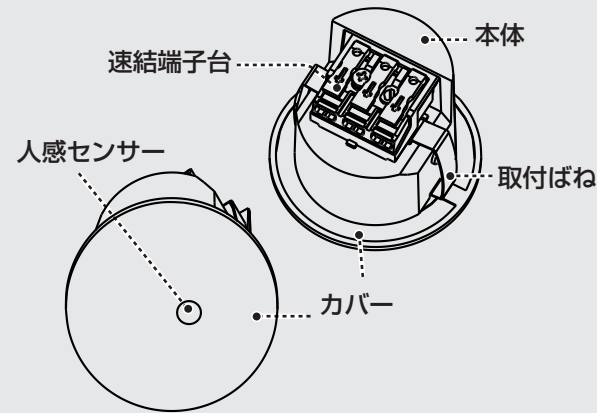
1. 埋込穴をあける

1

専用の工具で天井に埋込穴φ50(±0/+1)mmをあける。
取付前に器具重量や操作に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保する。器具上に10cm以上のスペースが必要です。
天井裏の構造に注意。
※取付可能天井厚は、5～25mmです。
※埋込穴にできたバリは十分に取り除いてください。



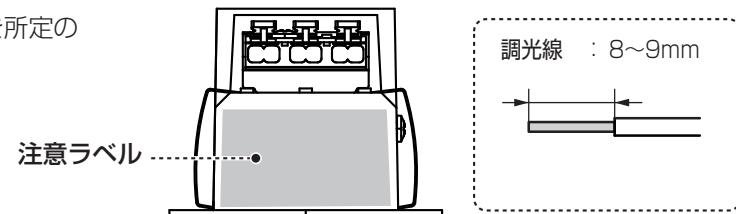
各部のなまえ



2. 信号線の接続

1

注意ラベルの表示にしたがい、信号線の被覆を所定の長さ(8～9mm)にストリップする。
(信号線は適合電線を使用する)



2

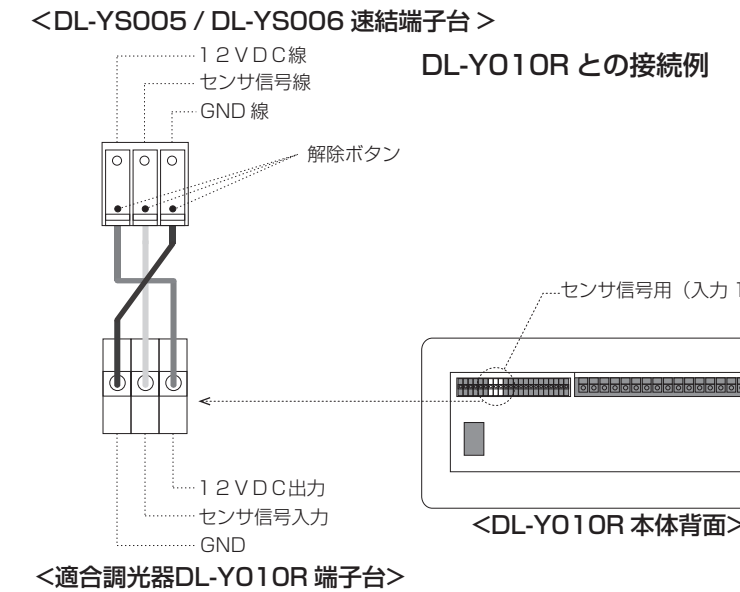
信号線を端子台の挿入面に、直角に奥まで確実に差し込んで接続する。
(一度引っ張り、接続の確認をする)
差し込みにくい場合は、解除ボタンをマイナスドライバーで押しながら差し込む。
(適用ドライバー：刃先幅5.5mm以下、先端厚0.8mm以下)
※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まない。(感電、火災の原因)

3

信号線の配線は、右図のように正しく挿入する。
(誤った配線をすると、発熱、発火、落下の原因)

4

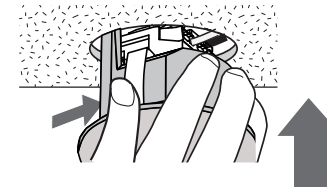
信号線をはずす場合は、必ず調光器の電源を切ってから解除ボタンをマイナスドライバーなどで強く押しながら引き抜く。
(適用ドライバー：刃先幅5.5mm以下、先端厚0.8mm以下)



3. 天井に取り付ける

1

取付ばね(2カ所)を押さえながら、天井(埋込穴)に対して平行に押し込み、ゆっくりと確実に取り付ける。
※本体の挿入が固い場合や天井とのすき間ができるなどの場合は、少し回転させながら押し上げるか、または取付ばねをゆっくりとスライドさせながら再度挿入する。
※本体と天井の嵌合が緩い場合は取付ばねを少し広げて再度挿入する。

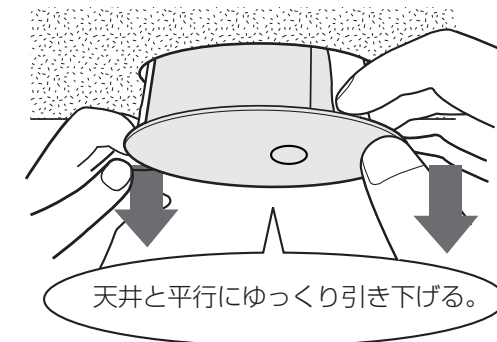


器具の取りはずし方法

天井から取りはずす

1

必ず調光器の電源を切ってから、カバー部分と天井との間に指をかけてゆっくり器具を天井と平行に引き下げ、取りはずす。
※無理に引き下げようとする、天井材破損のおそれがあります。



2

信号線をはずす場合は、必ず調光器の電源を切ってから解除ボタンをマイナスドライバーなどで強く押しながら、信号線を引き抜く。
(適用ドライバー：刃先幅5.5mm以下、先端厚0.8mm以下)